

インフルエンザ(2026年第3週)疫学情報 《コメント》

2026年第3週の定点当たり報告数は11.33(患者報告数43,027)となり、前週の定点当たり報告数10.54よりも増加した。都道府県別では宮崎県(30.75)、鹿児島県(27.98)、大分県(21.43)、沖縄県(19.78)、愛媛県(19.43)、佐賀県(19.08)、長崎県(18.53)、福岡県(18.45)、高知県(18.26)、熊本県(16.54)の順となった。全国47都道府県中、32都道府県では前週の報告数よりも増加し、15都道府県では前週の報告数よりも減少した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は844例であり、前週(1,081例)から減少した。47都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(30例)、1~4歳(81例)、5~9歳(71例)、10代(43例)、20代(21例)、30代(13例)、40代(16例)、50代(37例)、60代(72例)、70代(134例)、80歳以上(326例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近5週間(2025年第51週～2026年第3週)では、AH3亜型が208件(89%)、B型が25件(11%)、AH1pdm09が2件(1%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。